

# 県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

## 〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 4月

令和2年4月1日の推計人口 1,313,537人  
世帯数 559,378世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、  
世帯数：560,720世帯

### 1 推計人口

令和2年4月1日現在の推計人口は、1,313,537人で、前月(1,320,515)に比べ6,978人の減少となった。

市部では佐世保市(△1,945)、長崎市(△1,671)、諫早市(△428)、大村市(△335)、島原市(△331)、対馬市(△297)、雲仙市(△296)、壱岐市(△266)、南島原市(△235)、平戸市(△223)、五島市(△183)、松浦市(△122)、西海市(△111)の13市で減少した。

郡部において佐々町(7)の1町で増加し、長与町(△218)、新上五島町(△163)、時津町(△55)、波佐見町(△46)、川棚町(△28)、小値賀町(△21)、東彼杵町(△11)の7町で減少した。

自然動態は、出生数759人、死亡数1,543人で784人の減少、社会動態は、転入者数10,918人(県内転入を含む)、転出者17,112人(県内転出を含む)で、6,194人の減少となった。

### 2 世帯数

令和2年4月1日現在の世帯数は、559,378世帯で前月(559,713)に比べ335世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計＝H27国勢調査確定数＋住民基本台帳  
(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 2月

1人当たり現金給与総額 254,958円  
対前月比 1.5%減少  
対前年同月比 3.2%増加

### 1 賃金

2月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額254,958円で、前月に比べ1.5%減少し、前年同月に比べ3.2%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は253,326円で、前月に比べ0.3%増加し、前年同月に比べ3.1%増加した。

特別給与額は1,632円で、前年同月に比べ、60円減少した。

### 2 労働時間

2月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は142.0時間で、前月に比べ0.7%減少し、前年同月に比べ、3.0%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は131.0時間で前月に比べ0.8%減少し、前年同月に比べ、3.4%減少した。

所定外労働時間数は11.0時間で、前月に比べ1.0%増加し、前年同月に比べ2.8%増加した。

### 3 雇用

2月の常用労働者数は219,072人で、前月に比べ0.5%減少し、前年同月に比べ2.8%減少した。

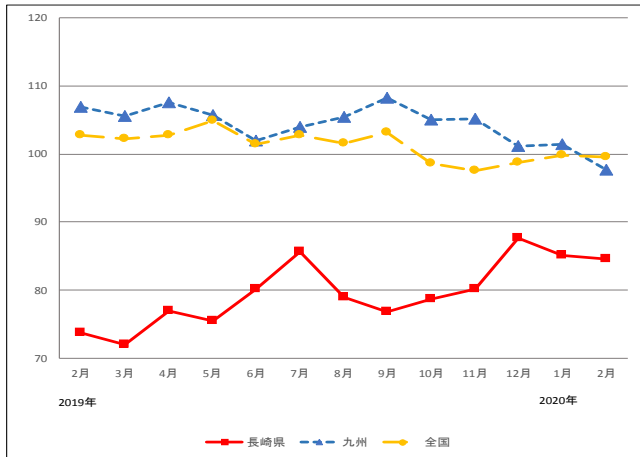
【鉱工業生産指数】…………… 2月

令和2年2月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区 分	季 節 調整 指数		原 指 数	前年同 月比(%)
	前月比 (%)			
長崎県	84.6	△0.6	73.7	10.3
九 州	97.7	△3.6	94.9	△7.0
全 国	99.5	△0.3	94.6	△5.7

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



令和2年2月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が84.6で前月比は0.6%の減、原指数は73.7で対前年同月比は10.3%の増となった。

業種別にみると、はん用・生産用機械工業、電子部品・デバイス工業など3業種が上昇し、窯業・土石製品工業、電気機械工業、輸送機械工業など10業種が低下した。

○主な上昇業種

業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上 昇 に 寄 与 し た 主 な 品 目
はん用・生産用機械工業	32.9	34.1	包装機械
電子部品・デバイス工業	1.7	24.6	シリコンウエハ

○主な低下業種

業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低 下 に 寄 与 し た 主 な 品 目
窯業・土石製品工業	△10.8	△6.3	生コンクリート
電気機械工業	△10.7	△10.4	開閉制御装置
輸送機械工業	△6.7	△9.0	新造船

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 3月

総合指数(H27=100)	103.8
対前月比 (%)	+0.1
対前年同月比 (%)	+1.1

令和2年3月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、103.8である。

前月比+0.1%の上昇で、主な上昇要因は「被服及び履物」+4.4%、「家具・家事用品」の+0.8%であり、主な下落要因は「教養娯楽」の△0.5%である。

前年同月比は、令和元年11月は+0.6%、12月は+0.6%、令和2年1月は+0.8%、2月は+0.6%と推移した後、3月は+1.1%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は104.0であり、前月比は+0.2%であり、前年同月比は+1.1%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

被服及び履物	4.4%
家具・家事用品	0.8%
保健医療	0.3%
諸雑費	0.1%

▽同水準の費目

住 居	±0.0%
教 育	±0.0%
食 料	±0.0%

▽下落した費目

光熱・水道	△0.1%
交通・通信	△0.2%
教養娯楽	△0.5%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 3月

消費支出(一世帯当たり)	277,147円
前月比	59,992円減(17.8%減)

令和2年3月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は277,147円で、前月比17.8%の減、前年同月比は6.2%の減であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は76.4%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。